



FUKUSHIMAものづくり 企業ファイル(No.5)

このコーナーでは、福島市に立地しているものづくり企業の知られざる魅力にスポットをあて、紹介します。

今回は「日本ドライケミカル(株)」さんです。

福島市では旧沖電気防災(株)の時代から、長年にわたり火災を早期発見するための火災報知設備などを製造してきました。

2016年には工場を市内の大森から福島工業団地へ移転し、従来の事業に加え消防自動車の製造や新製品・新システムの研究開発も行っています。

火災報知・消火設備は、皆さまの身近なところに数多く設置されています。

これからも総合防災企業として、福島から世界へ安心・安全を発信し続けます！



ロードサービスカー
(レッカータイプ)



福島市消防本部 今年度納車
化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型)

日本ドライケミカル株式会社 福島製造部
高品質な防災システムを福島から世界へ

クローズアップ

🔪 仕事内容は？

消防車を製造しており、その中でも塗装後の組立工程を担当しています。

🔪 アピールしたいことは？

弊社の消防車に搭載する液晶モニターは、視認性や操作性に優れており、お客さまから評価を得ています。

🔪 入社してみてください？

自分が製造に携わった消防車をまちで見かけたときは感動します！自分自身、日々研さんを重ね、成長してさらに良いものを作りたいと思います。

注目の若手社員に インタビューしました！



(入社2年目) 車輛製造2課
むらかみ ゆういち
村上 雄一さん

【会社概要】

所在地 福島市岡島(福島工業団地内)
東京都(本社)

代表者 遠山 栄一

設立 1955年4月

資本金 7億円

社員数 830人(グループ総数)

主要製品 自動火災報知設備、消火器、
消火設備、消防自動車

連絡先 526-2751(福島製造部)

■問/企業立地課 ☎525-3723



We Love♥ふくしま!

第23回『気候変動に対応しよう』

今年の正月は、雪をほとんど見ない穏やかな正月でした。令和になり、いきなり梅の季節が到来したような雰囲気。でも、正月としては、ちょっと物足りない気分でした。雪景色の中で、半纏を羽織り、お餅を焼いて…という光景が懐かしくなってきました。

昨年の台風19号、一昨年は西日本豪雨と猛暑少雨など、近年、異常気象が相次いでいます。ドイツのシンクタンクによると、一昨年異常気象による被害が最もひどかった国は日本とのこと。もっとも、異常気象は世界規模で発生しており、地球温暖化の影響と推測せずにはいられません。

私たちは、こうした現象に対し、災害に対し強いしなやかな地域をつくり、また農業など産業面、あるいは健康など生活の面でも、気候変動に対応して悪影響が及ばないような対策を講じていくことが必要です。ダーウィンの適者生存論で

はありませんが、変化にいち早く適応することで、有利な立場を確立していけるのです。

そして、気候変動への受け身の対応だけではなく、スウェーデンの少女グレタ・トゥーンベリさんが訴えているように、温暖化を防止し、将来にわたって持続可能な地球にすることが不可欠です。

国連が採択したSDGs※は、身近な生活や企業経営において持続可能な社会への貢献を考える上で非常に参考になります。SDGsを参考にしながら、一人ひとりが「もったいない」の精神で、省エネ・省資源の生活を心掛けたり、太陽光発電など再生可能エネルギーの導入を進めていきたいものです(もっとも、自然保護や安全な環境との調和が必要ですが)。

そうだ、花見山シーズンの対応を前倒ししなくては。桜の開花がもしかすると、一昨年の3月29日より早まるんじゃないかなあ。

※SDGs(エスディーゼーズ)(持続可能な開発目標): 2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。誰ひとり取り残さないことを目指し、先進国と途上国が一丸となって達成すべき17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

福島市長 木幡 浩

⑦

防災と災害情報メールマガジンをご利用ください

災害情報などをお知らせするメール配信サービスを行っています。メールアドレスを登録すると、情報を受け取ることができます。

●問/危機管理室 ☎525-3793



スマートフォン用



携帯用